

コスモスだより

コスモス法律事務所

- 住所
〒860-0081
熊本市中央区京町本丁8番28号
- 電話番号
096-351-8585
- FAX
096-351-8595



カモメのみなさん 撮影 塩田 直司

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。今年はワクチンや治療薬によって、新型コロナウイルス感染症が激減することを祈っています。当事務所も感染症対策に心がけ、皆様に適切な法的サービスの提供ができるよう努力します。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

2021（令和3）年正月
コスモス法律事務所 弁護士・事務局一同



新型コロナウイルス感染症と生活の変化

弁護士 塩田直司

中国の武漢に始まったとされる新型コロナウイルス感染症は、全世界に深刻な被害をもたらし、未だその感染拡大の勢いが弱まる様子が窺えません。アメリカ合衆国においては新型コロナウイルス感染症の感染者は1760万人を超え、死者は31万人を超えていると報道されています。日本においても現在累計感染者数は20万人に達しようとしています（12月20日現在）。

令和2年4月7日、政府は新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を発出し、感染者数の増加の沈静化を図りました。人の動き止めることで感染者数の増加を防ぐものでした。これを受けて裁判所は裁判期日や調停期日を取消、変更しました。当然私たちの業務や生活にも大きな変化がありました。裁判関係が延期になってしまった為に、時間に余裕ができたのですが、かといって遊びに行けるわけでもなく、またスポーツクラブや運動施設も閉鎖されていた為テニスや野球もできない状態で、鬱々とした気分の日々を過ごしていました。

その頃から仕事のリモート化が盛んに言われており、私も遅まきながら依頼者の皆様との打合せをインターネットを通じたスカイプやズームで行うことを開始しました。いくつかの案件を行いました。双方に共通の資料があれば、何も事務所に来ていただかなくても、充分打合せができることを実感しています。

遠方の方でなくても、わざわざ事務所まで来ていただく時間と手間がなくなりますので、今後インターネットを通じた打合せを可能な限り拡大していきたいと考えています。勿論、私の顔を直接見たいという奇特なお方はどうぞ事務所においでください（笑）。歓迎いたします。

事務所においても新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、定期的なアルコール消毒などを行い、皆様が安心して来所できるような環境を整えるよう努力しています。

私は弁護士にになって、事件の処理を行うときに、私たちの処理する案件は時代により変わってくることを実感していました。バブルの頃は不動産に関する案件が多くなり、その後破産等の倒産手続、その後サラ金に対する過払い訴訟などの変化です。私はこのように案件の変化があるときに、私たちの仕事は物や人が動くときに摩擦が生じてトラブルになり、その解決のために私たち弁護士に依頼があるのだと思うようになりました。従って、物も人も動かないときには摩擦が生じなく、事件処理の依頼もなくなるのだろうと考えています。

人が動かなければ、新型コロナウイルス感染症の拡大は防げると言われています。何か共通するものがあるなと思っています。



～SDGsをご存じですか～

弁護士 矢澤利典

1. SDGsとは

街中などですれ違う人の胸元に、円状17色のパーツのカラフルなバッジが付いているのを見たことはありますか？それがSDGsのバッジです。

SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。

聞き慣れない方もおられるかと思いますが、これは2015年の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。SDGsは、17のゴール・169のターゲットから成り、17のゴールには、貧困、教育、性別、水、エネルギー、労働、気候、陸や海など、今後人類が持続的な社会を営む上での様々な課題が含まれています。その解決のために、さらに169のターゲットが設定され、そのターゲットを達成するために具体的な各数値目標が定められているのです。

SDGsでは、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っていますし、これは全世界が取り組むべき課題とされています。

2. 具体的な取り組みについて

策定から5年が経過し、達成期限まであ

と10年という時期ですが、日本でもSDGsの認知度や活動も進んでいます。例えば、熊本市も優れた取り組みを提案しているとして「SDGs未来都市」に選定されています。

もともと、SDGsのそれぞれの目標は独立したものではなく有機的に相互に関連していること、特定の国や特定の機関ではなく全世界の全ての人に取り組むべきこととされている点に本質があります。

SDGsの全てを記憶し理解しなくても、皆さんの生活や仕事における様々なシーンで、途上国を經由して目の前に現れた製品を消費する消費者の一人として、世界とつながっているという感覚をもつことが大切でそのような、私達自身の小さな選択がSDGsの達成に影響しているという意識で生活をするのが求められています。

私は、熊本県弁護士会の公害環境委員会に所属していますが、環境問題という切り口からSDGsを知ることとなりました。今年は公害環境委員会主催で2回のSDGsの研修会を実施し、少しずつ県弁護士会内への周知につなげています。それが、やがて弁護士会全体の取り組みにつながり、さらには社会に周知できる機会に広げて行ければと思っています。

本年もどうぞよろしく お願い申し上げます。



事務員 有木 紀子

子どもの頃、年を重ねたら母のように穏やかで思慮深い大人になれるのだと思っていました。ところが、白秋といわれる年齢になっても、相変わらず沸点は低いし考えは浅いまま。心って育ちにくいものですね。でも、年をとって少し豊かになったものがあります。それは想像力。世界中がコロナに翻弄された昨年、ウイルスの脅威だけでなく、回せない経済の下、差別や格差、分断や孤立が世の中を暗くしました。今日に見える人とは距離をとり、目に見えない人達の辛さに近づく。そんな「ソーシャルディスタンス」が、ささやかな明るさをくれそうな気がします。

事務員 中道 美保

2020年の今年の漢字は「密」でした。毎年予想して見るのですが昨年は、新型コロナウイルス感染症の流行により、大きく生活が変わったので「変」、コロナ禍の「禍」、外出をできるだけ控えて家にいることが多かったので「家」、「肅」、などと予想してみました。今年はコロナが早期終息し、穏やかな生活に戻り、今年の漢字が「穏」や、「収」となりますように。

事務員 高森佐知子

先日、蔦屋書店に行きました。ジャンルに関わらずじっくり棚を眺めてまわるのですが、「熊本が舞台の漫画」と書かれたポップに目がとまりました。熊本市在住の漫画家・ウオズミアミさんの「三日月とネコ」。熊本地震後の悩める3人の大人とネコとの日常生活が描かれています。「何か欠けたまんま大人になりきれない」3人の葛藤や優しさに、愛しさを感じる、そんな一冊です。背景に見たことのある町並みが描かれており、同じ熊本に住んでいるワクワクがプラスされるお得感。おすすめです。

事務員 廣石由美子

最近、よく熊本市の図書館を利用します。予約して取り置きができるので、コロナの感染対策で長時間滞在できなくても、すぐに受け取って帰ることができ、たいへん便利です。

娘は家にもタブレット漬けになることが多いので、本さえあれば読みふけているので助かっています。

まだしばらくは家で過ごすことが多いでしょうから、私も今年はたくさん本を読みたいです。

コスモス法律事務所

- 住所／〒860-0081 熊本市中央区京町本丁8番28号
- 電話番号／096-351-8585 ●FAX番号／096-351-8595
- 電話受付時間／月曜日～金曜日 午前9時30分～午後5時(但し、FAXは24時間受付)
- 備考／ご相談の際は、必ず電話での予約をお願いします。
- ホームページ <http://www.cosmos-law.com/>